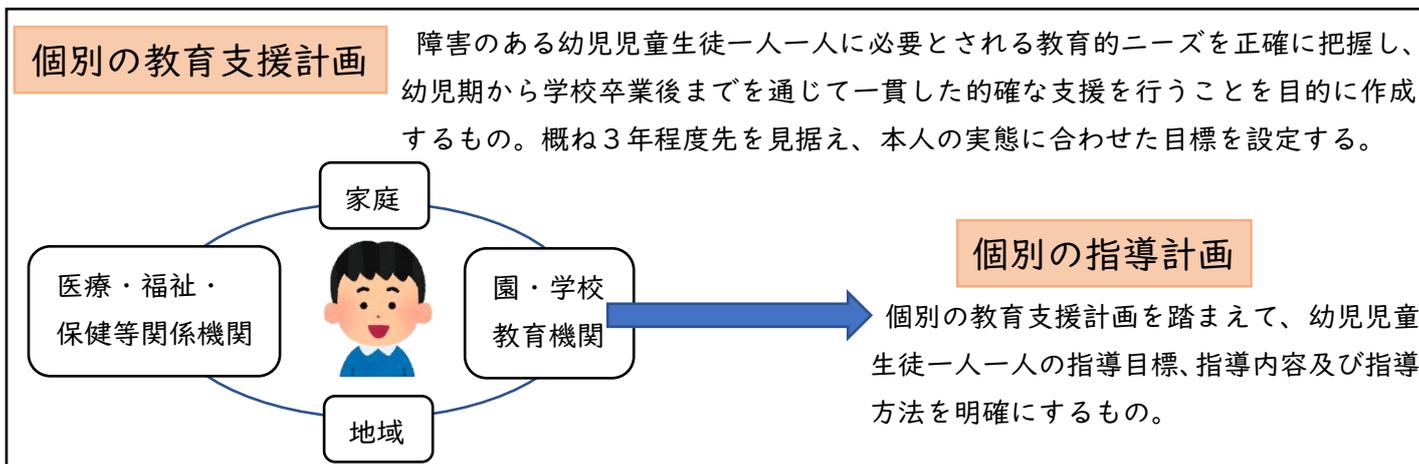


# K-ライン

今回のK-ラインは、昨年度のアンケートでも御要望が多かった「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成の流れなどについて紹介します。



## 個別の教育支援計画作成の流れ

### 【本人の実態把握】

**【得意なこと、好きなこと】**

- ・ 図鑑を見ながら虫の絵を描くこと
- ・ 箱を組み立ててロボットを作ること

**【苦手なこと】**

- ・ 初めて取り組むこと
- ・ 説明したり、気持ちを話したりすること

本人からの聞き取りが難しい場合は、行動観察から気持ちを読み取ります。



**【本人の願い】**

みんなと話をしてもっと仲良くなりたい。一緒に遊びたい。



**【保護者の願い】**

いろいろな人に自分の気持ちを伝えられるようになってほしい。



**【支援の目標】**

- ・ グループの友達や担任に気持ちを話したり、説明を定型文に沿って書き表したりする。
- ・ 物怖じせずに学習に向かうための条件や効果的な環境設定を見いだす。

合理的配慮については、本人や保護者と合意形成を図った上で決定し、記載します。



ここで【支援内容の検討】をすることで、より個に応じた支援につながるのにおすすめです！



### 【合理的配慮を含む支援の内容】

①-1-2	学習内容の変更・調整
・ 学習内容を予告したり、事前に発表練習をしたりする時間を設ける。	
①-2-1	情報・コミュニケーション及び教材の配慮
・ 漢字にふりがなを振ったり、単語や文節のまとまりが分かりやすいように区切り線を引いたりする。	
②-1	専門性のある指導体制の整備
・ 通級指導教室と連携し、ゆっくり気持ちを話したり、書き言葉にしたりする力を高める指導の充実を図る。	



## 個別の指導計画作成の流れ

### 【個別の指導計画(小・中学校等 通常学級の例)】

現在の実態	※疾病、体質・体調への配慮、生活リズム、安全等 ※身辺自立、生活習慣、運動・動作など基本的な生活動作 ※聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなど ※長所、興味・関心、コミュニケーション、指示理解、約束、集団への関わりなど			
目指す姿 (目標)	※どのような姿を目指して指導するのかを記入 ①長期目標(1年) ②短期目標(1か月、3か月、学期等)			
優先順位	目標	指導内容、手立て等	児童生徒の変容	評価
1	※観察可能で、肯定的・具体的な目標を記入	※できる限り、具体目標を達成するための場面や具体的な手立てを記入	※どのように児童生徒の姿が変容したかを具体的に記入	※指導内容や手立ての妥当性・有効性を記入

1年後を見据えて、段階的で具体的な目標を設定します。



具体的な手立てを明記します。その際、段階的に支援を減らしていけるように考えると良いです。



## 個別の教育支援計画、個別の指導計画の評価

### 【個別の教育支援計画】

- ・中間評価、年度末評価などのタイミングで実施する。
- ・保護者面談等を受けて、支援目標や支援内容が適切であったか評価する。
- ・新規の支援情報はないかを確認する。

### 【個別の指導計画】

- ・半年ごと、学年末の年2回評価する。
- ・幼児児童生徒の変容など、目標に対する成果と課題を分析する。
- ・達成できない課題があったら、目標や指導内容、手立ての見直しをする。

<参照>秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン(四訂版) P30~39



秋田県立栗田支援学校 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10  
 TEL : 018-828-1162 ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>  
 FAX : 018-828-4720 メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)



本校HP

教頭：齊藤 理香 教育専門監：牧野 幸枝 地域支援部：照井 真紀子  
 特別支援教育アドバイザー：田口 睦子(秋田市教育研究所 TEL018-865-2530)